



子育てセミナー 「パパもいっしょに 家族で子育て」 ～ふれあい遊びでコミュニケーション～

主催：子育てサポートステーション 9月23日 37名参加

神戸常盤大学子ども教育学科の准教授で、元保育士の小崎恭弘さんに「子どもたちとの遊び方・接し方」について、実際に体を動かしながら楽しく教えていただきました。パパも多く参加し、汗をかきながら子どもたちと一緒に遊びました。

こわごわ首にしがみついて乗る子どもたち。慣れてくると上半身を立ても平気

その後、簡単なものから体全体を使った遊びまで、息がきれるほど。脇をかかえて、左右にぶらぶらゆさぶたり、お馬さんごっこで振り落とそうとしたり。周りの安全を確保したり。ちよっと思い切ったやつでも大丈夫。慣れてくると

間をたいせつにしている。

始める前には、準備体操

も忘れずに！

も忘れずに！

参加された親御さんの感想

- ♪最近、子どもと体を使って遊ぶことが無かったので楽しかった
- ♪いろいろな遊びが成長するのに役立つというので子育てに取り入れたい
- ♪運動不足は子どもが寝なかつたり、ごはんをたべない原因にもなるんですね
- ♪少しのアイデアで楽しい遊びになるなあと思いました



※子育て広場「パルちゃん広場ぼっかぼか」の案内は5ページをみてね



3人のお子さん
 を育てる小崎さん。
 「小さい時は
 いっぱい遊んで
 あげてください」

「お子さんの顔、描けますか？」とどきどきとする質問から始まりました。

まずは自分のお子さんの顔をじっと見つめてもらいます。時には「アップアップ」と変な顔で笑わせてみましょう。

子どもは生まれて、まず

「目」を見て相手を認識し

ます。それがだんだん顔全

体に広がって、体全体まで

認識できるようになるのは

ずと後になってからだと

すです。「だからお互いに

目を見つめて笑顔になる時

間をたいせつにしている。



自然と子どもたちも落ちないようにバランスを取るようになります。

6歳くらいまで体を動かしたくさん遊ぶことで、運動能力も高まり、体を支える「体幹」が鍛えられ、とつぎの時のケガを防ぐ役にも立ちます。

「肩車」や「お馬さん」

体を使った「パパ登り」な

どのふれあい遊びを通して

親子のコミュニケーション

は、心と体の豊かな成長に

かかせません。

始める前には、準備体操

も忘れずに！

パル子のお店新発見

おおさかパルコープには8つのお店があります。今回は全店舗にAED（自動体外式除細動器）を設置したお話です。

AEDがついたんだって！
 設置場所を確認してみなっちゃ



AED講習も行いました
 (写真は店長などを対象の講習会)

◆パルコープの事業所一覧はホームページをごらんください
http://www.palcoop.or.jp/au_ji/au_ji_iti.html

AED（自動体外式除細動器）を、ご存知でしょうか？電気ショックを与えて心臓の働きを戻すことを試みる医療機器で、駅や学校・公民館などの公共施設、百貨店などでも見かけるようになりました。突然の心臓停止になったとき、救急車が到着するまでの間にAEDと胸骨圧迫（心臓マッサージ）の併用をすることによって、救命率が大きく向上しているそうです。

パルコープでは、集会所（無人）を除く全ての施設（組合員会館、店舗、福祉センター、配送支所、本部）に、万一の時の備えとしてAEDを設置しましたのでご安心ください。



各店舗に設置されたAED

【パルコープのお店ご利用は】共同購入の組合員さんなら、各店舗サービスカウンターで無料で「ぱるんカード」をお作りします。その日のお買物分からポイントがつき、パルコープの全ての店舗共通でご利用できます。

【パルコープのお店情報：今週のチラシ情報はHPをご覧ください】<http://www.palcoop.or.jp/shopping/shop/index.html>



NO.42

被災者に寄り添い、絆をつなげる支援活動を



東北では被災から3度目の冬を迎えようとしています。寒くなると仮設住宅など室内に閉じこもりがちになります。若手では被災前から「お茶っこ」といって、近所の人たちが気楽に集まって茶話会を開くことが習慣になっています。

いわて生協では、「ふれあいサロン」という呼び名で「お茶を飲みながらのおしゃべりや手芸、軽い運動などをして楽しいひと時を」と、復興支援の取り組みの一つとして開催しておられます。沿岸地域の仮設住宅集会所などで、被災後から延べ1000回を超えるボランティア活動として続けておられます。

その中で特に男性の独り暮らしの方に多いのですが、仮設住宅の狭い台所では調理もままならず、食事がおろそかになり栄養不足になって、健康を害する心配が増えてきているとお聞きました。そこで、いわて生協「秋のつどい」では、「しっかり食べよう！」をテーマに簡単レシピ集を配布されるそうです。また移動販売車のほかにも、「紳士衣料品を購入する場所が少なく困っている」という組合員さんの声を受けて、「あったか衣料品即売会」も開催されるなど、地域になくはならない生協らしい活動が続いています。

(NPO遠野まごころネットに常駐する
 パルコープボランティア事務局・林さんより)



遠野まごころネットのホームページは
<http://tonomagokoro.net/>

ずっとポラの会(ボランティアバス参加者の有志の会)よりお知らせ



9月20日には第9回のボランティアバスの出発前にも販売活動をしました

第4回の「東北応援グッズ」の店頭販売を10月13日につるみ店で行い、参加者14名で、売上は42,380円、募金は4,776円お預かりし、収益と募金は東北支援募金へ入れさせていただきました。次回は11月10日(日)に東部島店で10時から開催です。のぞいてみてくださいね。

※地下鉄有明線「野江内代」駅より徒歩約3分
 ※駐車場はありません

たこ焼作りでいわて生協まつりの応援



昨年引き続き、いわて生協まつりの応援にパルコープ職員も「大阪名物たこ焼」で参加しました。

9月29日の気仙地区「けせんまつり」と10月5日の釜石地区「釜石まつり」で、約1300食のたこ焼を「被災地の方に元気になってもらおう」と作りました。

パル子ちゃんの着ぐるみは子どもたちに「パル子ちゃんシール」をプレゼント。初めて見るパル子ちゃんにびっくりしながらも喜んでいただいたようです。当日の売上げ合計131,250円の中から収益を東北支援募金に入れさせていただきました。



お1人でもご家族でも

参加者募集



よどがわ生協・ならコープ合同企画

第12回・第13回「岩手ボランティアバス」

★第13回目では、いわて生協さんと協力して年末の炊き出しをします。

企画回	実施日	申込締切
第12回目	12月20日(金)～12月23日(月・祝)	11月22日(金)
第13回目	12月28日(土)～12月31日(火)	

【募集定員】各回20名(3生協で各回60名)

今までに参加された方も、申し込みを受け付けています。定員を超えた場合は抽選となります(初めてのの方が優先です)。

【参加費】お1人9,700円(ボランティア保険含む)

※第12回より、遠野まごころネットのボランティア活動協力費の改定により、ボランティアバスの参加費を変更させていただきます。ご了解いただけますようお願いいたします。

【行程】3泊4日(車中2泊)・大型観光バス2台

- 1日目 パルコープ本部(京橋)集合(18時) <車中泊>
- 2日目 岩手10時頃着、ボランティア活動、被災地視察 <宿舎泊>
- 3日目 ボランティア活動 <車中泊>
- 4日目 パルコープ本部前到着(9時頃予定)

【参加条件】組合員さん、及びその家族で安全上、中学生以上の方

- ※ボランティアの内容と場所は、現地での要請に基づきます。
- ※持ち物などの詳細は別途、参加者にご案内。
- ※宿舎は男女別・相部屋。
- ※天候不順などにより中止になる場合があります。

【申し込み・問い合わせ】パルコープ組織部

☎06-6242-0904 (月～金 9時～18時)

※ボランティア活動報告はホームページにも掲載しています。<http://www.yodogawa.coop/info/info/shinsai>
 ※ボランティアバスの募集は今週配布の別チラシでもご案内しています。